

—SLOC活動が実効性を持つ為に—
「地域での運動器維持活動から考える事」

全国ストップ.ザ.ロコモ協議会が、まさに、国民運動として各方面で認知されるには、感覚器、中枢神経に関わる科と連携した調査研究や事業活動を展開する発想が必要と考えます。

そのうえで整形外科がイニシアチブを取って、各方面に働きかけて行く事でS L O Cや整形外科が評価されることに繋がると思います。

地域の行政には、高齢者の運動器機能維持の指導スタッフがおらず、ノウハウもないのが現状です。

地域で顔が見えるJCOA会員が診察室を出て、多職種(看護、介護、福祉、教育等)と一緒に汗をかく活動をする必要があると考えます。

生活習慣によりメタボもロコモも表裏一体の関係にあり、同時進行形している例が多いことから、関連他科と連携して、メタボ・ロコモに同時介入するプログラムの構築を考えています。

小生のフィールドワークは以下のホームページに詳細な記載があります。
お時間の許すときにご高覧いただければ幸いです。

カシオペア転倒予防研究会

<http://udk.umin.jp/tentou/>

全てPDFファイルになっています。読みたい文書をクリックしてください。

- 1) カシオペア健康ラジオ講座 ～みんなで守ろう地域医療～ (平成22年)
「お年寄りの転倒予防」
講師：二戸医師会 菅栄一 会長 (カシオペア転倒予防研究会代表世話人)
- 2) 「いつまでも元気に暮らすには」 (平成23年11月7日放送)
転倒予防の意義 ロコモーションチェック ロコトレ
- 3) 「転ばず健康な毎日を」 転倒予防医学研究会世話人 菅栄一医師に聞く
(毎日新聞 平成23年8月)
- 4) 「転ばないで生きいきと暮らす」 (二戸市広報誌 平成24年2月)
- 5) Doctor's Interview ドクターの話が聞きたい ドクターズアイ(平成24年3月)
菅整形外科皮膚科クリニック院長 菅栄一 先生